

第9回大会の成功に向けて

大会を前進で迎えよう

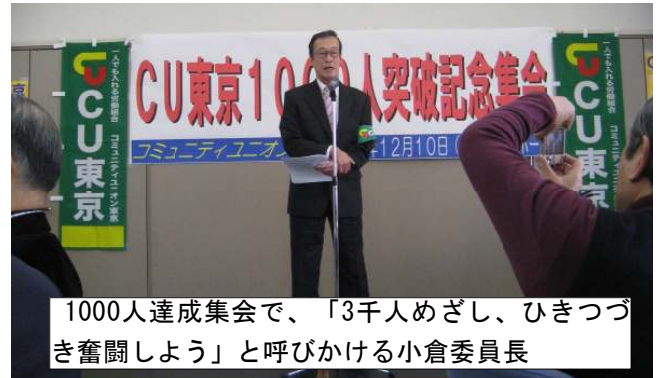
CU東京第9回大会は、1100人を突破し、新しく中野支部が結成されるなど、大きな前進の中で迎えます。この大会は、安倍総理の「憲法9条改憲宣言」という、歴史的な局面、重大な情勢の中で開催されています。「非正規雇用が社会標準」となる中で労働組合の活動方向、CU東京の方針を明確にすることが求められる大会です。

「9条改憲」阻止を

5月3日、安倍総理は、「憲法9条に自衛隊を明記する改憲を行い、2020年に施行する」と宣言しました。憲法9条に自衛隊を明記することは「9条が空文化」し、「海外での武力行使」が無制限にできるようになります。「立憲主義」を蹂躪する安倍内閣が「9条改憲」に暴走することは、平和主義、個人の尊厳、国民主権といった戦後民主主義への「挑戦」といっても過言ではありません。このような歴史的局面の中で開催する大会では、9条をはじめ憲法が日本の未来を指し示していること、侵略戦争の反省に立って「権力の暴走」の歯止めとなっていること、労働組合が「憲法に明記された団体」であることなどを改めて確認し、「アベ改憲宣言」阻止の国民運動と連帯し全力挙げてたたかう決意を示すことが重要です。

労働者「一人ひとりに寄り添い」

「非正規雇用が4割に達し」さらに加速する政策がすすめられる中、「人間らしい雇用のルール破壊」が「格差と貧困」を拡大し日本社会の危機を深刻にしていること。このような労働者の「苦難」「雇用



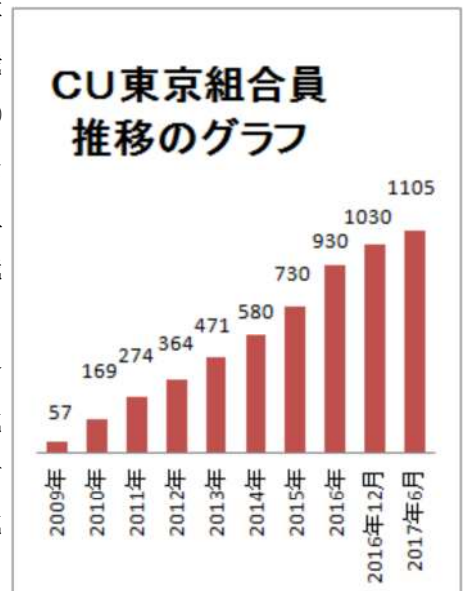
1000人達成集会で、「3千人めざし、ひきつづき奮闘しよう」と呼びかける小倉委員長

の劣化」に対して、CU東京は「貧困」と「個人の尊厳」が踏みにじられ苦しんでいる労働者「一人ひとりに寄り添い」、「駆け込み寺」となって、憲法で保障された「労働三権」を行使して「発言権を保障する」ことを「運動の基調」にして活動します。

「新しい労働運動」を追求

雇用情勢は、個別化した労使関係に対応する「新しい労働運動」を追求することが求められています。CU東京は「新しい労働運動」にふさわしい組織化と活動を目指します。

①「駆け込み寺」を求めている労働者の支援組織として「当事者」と「支援者」（協力組合員）を組織に結集します。②中小企業における「労使関係の改善」と、個人事業主などの組織化を進める。③一人一人が「発言」できる「組合活動」を意識的に取り組みます。④協力組合員による組織化と運動強化のオルグ活動を強化します。



コミュニティユニオン東京 第9回定期大会

- 2017年7月8日（土）午後1時30分開会
- 東京労働会館・ラパスホール

春の拡大月間 66人拡大、1105人に

8支部目標達成 文京、こうとう、品川、豊島、練馬、かつしか、中野、三多摩

労働相談で12人加入 協力組合員5人、超過達成！ 地域労組こうとう



地域労組こうとうはCUの組織拡大月間の提起目標（5%＝12名）を5名超過達成して17名を仲間に迎

え入れました。12名が労働相談を通じて加入し、5名が協力組合員です。現在組合員は250名。31名で結成し、8年弱で8倍になりました。8割が労働相談で加入した仲間、問題が解決すると退会してしまう人もいます。

相談の組合員へのバックアップ

こうとうは現組合員と退会者を合計すると約430名近くが加入したことになり、6割近くが組合に残っています。一つはCU自体のもつ入院共済制度。もう一つは労働相談が解決した組合員へのバックアップ。月1回のワンコイン交流会で職場の交流をしたり、ハガキニュースを定期発行して全組合員に送っています。

4月21日に江東区労連主催の「知って得する働く権利」学習会に参加したりと学習活動の呼びかけも積極的に行っています。「ローカルユニオンは加入するが解決するとすぐ抜ける」という見方を変えていく必要があるのではないのでしょうか。

ここ最近の相談を2件紹介します。1つ目はH産業という会社で働いていた5人の労働者が社内組合を作ったとたんに会社から嫌がらせを受け、全員が退職届を、ところが退職金の計算をめぐる対立、5人全員が地域労組こうとうに加入し闘っています。2つ目はベトナム人女性から、流産をして体調不良から勤務軽減を会社に申し出たら今まで1年更新の労働契約が1ヶ月契約にされそうになり、組合に加入。会社と交渉を行った結果今まで通りの労働条件で働くことができるよう

になりました。

職場分会も毎月分会会議をもち

こうとうには職場分会があります。S化粧品分会というパート労働者が作った分会、増減がありますが結成して8年。毎月一回分会会議を開いて、必要に応じてミニ権利ビラを配布したり、会社と団交を行っています。今春闘では分会や公然化職場で企業内最賃1500円の統一要求書を提出するとりくみを行いました。残念ながら2分会しか提出できませんでしたが、労働組合の基本的な活動もできるような学習や交流が必要になっています。これからも未組織者の組織化のために全力で頑張っていきます。（こうとう 中村記）

毎年10人ずつ組合員が増えてきた

葛飾支部

区労連・東京土建の支援を受け

毎年10人ずつ組合員が増えてきた葛飾支部です。結成5年目で、42人になりました。葛飾区労連と、東京土建葛飾支部の力を借りながらの4年間でした。

増えてきたのは、区労連の中で訴え続けてきた結果と、CUかつしかの活動を見て、「応援するよ！」と加入してくれた「組合役員のOB」と、相談者の悩みに「誠意を持った対応」の結果かな・・・と思います。小さな葛飾支部は、なかなか労働相談に対応する集団的な体制はとれません。

結成以来4年間、毎月執行委員会開催

CUかつしかの役員は、みなさん、区内の諸団体の役員との兼務です。葛飾支部は、結成4年間、執行委員会を月1回必ず開催し、そこで話し合い、方針を確認しながらすすめてきたました。



労働相談の対応には、苦勞もあります、そんな時、本部に行きます。

「不安になったら、本部に来ればいいよ！交渉は相手がいることだから、うまくいかない時もある・・・でも、大切なことは相談者の組合員に誠意をつくること。交渉相手からも、解決しようとする誠意を引き出すこと。」・・・アドバイスから力をもらい、とりくんできたのが葛飾支部の到達点です。

「小さな成果」と思っていると、本部にいくと「大きな成果！これが、組合の力だよ！」と言われ、力と確信をもらってきました。結成5年目・・・目標は50人突破です。

(CUかつしか 書記長 岡野)

頼りになる組合探して

品川支部

不安をいただき、組合に相談

品川の組織拡大は主に労働相談での加入が中心でした。今回は、JR関連会社の50代男性が、怪しい組合が門前でビラを配布しているのに不安を感じ、頼りになる全労連系の組合をパソコンで探し、品川労協にたどり着き、労協に来ていただき、組合の説明し、リーフを渡しました。その後、加入書を送ってきました。

30代の男性は、1年前から誘っていましたが、拡大月間もあと3日しかない時に偶然会って、早く出してほしいと話し、その場で書いてもらいました。あと一人の50代の正社員の女性は、これまで組合員の友達といつもレクに来ていた方でした。2年前から、お誘いしていましたが、二重加盟で迷っていたとの事でした。CU

の組合の事を良く説明し、やっと加入してもらいました。

また、品川の執行委員が60代の友達の女性に話をし、加入してもらっています。

この間の拡大は、こ

れまで誘っていた人に対して、組織拡大月間がきっかけとなり、久しぶりに執行委員会を開き「どう増やしていくか」と議論し、担当を決め、取り組んだことが組織拡大につながりました。この原稿を書いている日に、1人加入の報告が入ってきたのは、これまたうれしい限りです。(佐藤盛雄 記)

この組合に相談して良かった

CU三多摩協議会

ちょっといい話

K子さんが「再就職が決まった」と事務所を訪ねてきました。小規模の会社で働いていたKさん。「経営が赤字続きだから」と社長から解雇予告を受けました。納得がいかないKさんは当初別の組合に相談。「そのケースは対応できない」と断られ、CU三多摩へ。

組合では相談担当者が、まず解雇理由を書面で受け取るようアドバイス。その後で団体交渉を行う方針をK子さんに伝えていました。

K子さんは「有給を消化して退職をすることにした」こと、またこの問題が起こってから「職場のみんなど労働組合の話も出来た。結成には至らなかったけど、この組合に相談して良かった」と、組合加入の手続きをして帰っていきました。この日応対した私達もホッコリした気持ちになりました。

(三多摩・福田記)

CUの共済制度が魅力です

CU東京の共済が組合員を佐保一トします。

万が一のとき、頼りになるのがCU東京の入院共済、交通殺回、協浅井、慶弔制度です。組合費2000円にすべて含まれています。

■ **病気やケガによる入院共済1日5000円**
4日以上入院で1日眼から年間60日。65歳以上年間30日。

■ **交通災害共済入院1日3000円**
実通院1日3000円、死亡200万円。

詳しくはCU東京本部までお問い合わせください。



◇アピール◇

働く者の権利擁護と改憲ノーを明確に示す候補の勝利勝ち取ろう

6月8日 CU東京執行委員会

全国注視の東京都議会議員選挙が6月23日告示、7月2日投票で闘われます。この選挙は都民要求の実現と9条改憲を宣言した安倍暴走政治阻止に影響を持つ重要な政治戦です。CU東京は組合員のみなさんに、働く者の権利擁護と改憲ノーの候補者の前進のために奮闘されることを呼びかけます。

CU東京は、非正規といわれる働き方を拡大し、働く者のくらしを破壊してきた安倍政権の労働政策の下、「駆け込み寺」機能を発揮して、困難を抱える働く者に寄り添った活動を強化し、今日1,100人を超す組合に前進しました。

都議会議員選挙は、組合の要求実現に大きな影響を持ちます。以下の課題で協力できる候補の前進にむけ活動します。第一には最低賃金1500円など賃金底上げ実現、解雇のルール破壊など連続的な労働法制改悪など安倍政権の大企業優遇、労働者敵視政策を改めさせる世論を大きくしていきます。第二には、監視社会となる「共謀罪」推進や9条改憲で、海外で戦争をできる国に変えようとする安倍政権の狙いを阻止していきます。第三には、築地市場の豊洲移転を中止、大型開発優先から都民の福祉を優先させる、横田基地撤去など都民の安心・安全を守る都議会への転換です。

組合員みなさん、都民本位の都政に転換させましょう。



(街頭演説に多くの方が足を止めて、訴えに耳を傾けていました)

「共謀罪」強行に怒り

廃止へ引き続き闘う

6月16日、参議院は自民、公明、維新の賛成多数で本会議採決で可決・成立しました。

森友・加計学園疑惑に国民の怒りが沸き起こる中、追い詰められた安倍政権は、参院法務委員会審議を省き、「中間報告」という一方的な説明で、採決に



成立後、19日も国会に、廃止を求める人々。(東京新聞)

持ち込み強行しました。

「内心」を処罰対象にする共謀罪法は、犯罪の具体的行為があつて初めて処罰されるという刑法の大原則を捻じ曲げ、思想・良心の自由をはじめとする基本的人権を侵害する違憲立法です。「テロ対策」とか「一般人は対象外」とごまかし、国民を欺こうとしました。

一方で、公平公正であるべき行政をゆがめる「加計」「森友」疑惑の解明には背を向け、国民の怒りは高まっています。共同通信の17、18日の電話世論調査は、安倍内閣支持率は44.9%、前回5月から10.5ポイント急落。不支持は43.1%に、大きく減少しています。

CU東京は、共謀罪法に怒りを持つ学者・弁護士団体、市民団体や東京地評などの労働組合が共同して、この法律を廃止に追い込み、安倍暴走政権を退陣に追い込んでいきます。

■都議会議員選挙がたたかわれています。今回の都議会議員選挙にはCU東京を応援・協力している候補者がいます。江東のあぜ上三和子さん(現)、文京の福手ゆう子さん(新人)、小金井の朝倉法明さん(新人)、尾崎あや子さん(現)など、必勝を勝ち取り、労働環境の改善、賃金の改善、最低賃金1500円への引き上げなど前進を勝ち取りましょう。■来月、7月8日はCU東京第9回大会。組合は昨年12月10日に1000人を突破、現在、1100人です。成果を持ち寄り、経験を交流、学びあいます。積極的な参加、討論をお願いします。